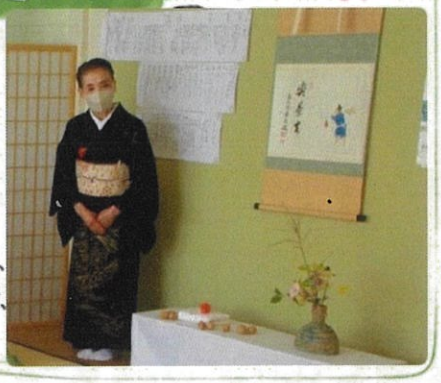
第15号
2026年10月
エルマーとりゅうぐみ

エルマーとりゅうぐみ新聞

心を込めたお茶会

～心を込めた一服を、お父さん・お母さんへ～

6月から始まった茶道の時間



6月から9回にわたり、
裏千家の茶道を宗久先生に
教えていただきました。
初めは長い時間正座をする
ことも難しかった子どもたち。
お辞儀の仕方やお茶の点て方など、
一つひとつ丁寧に教えていただき、
少しずつ作法が身に付きました。

お茶の心 和敬清寂（わけいせいじゃく）

お茶の道では、
「和・敬・清・寂」の心を大切にします。

- 和　みんなと仲良くすること
- 敬　相手を敬うこと
- 清　心を清らかにすること
- 寂　静かに落ち着くこと

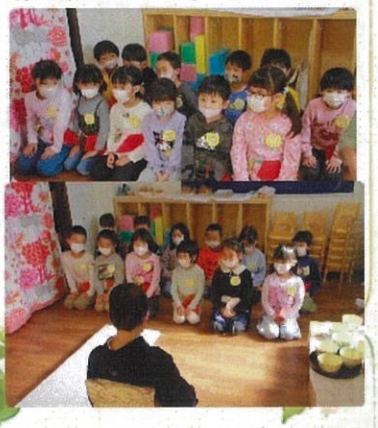
お父さん・お母さんに心を込めて

いよいよ迎えたお茶会。
普段は元気いっぱいの子どもたちですが、
この日は凛々しく、堂々とした姿を見せてくれました。
「おいしいお茶を飲んでもらいたい」
そんな思いを込めて、一生懸命にお茶を点てました。



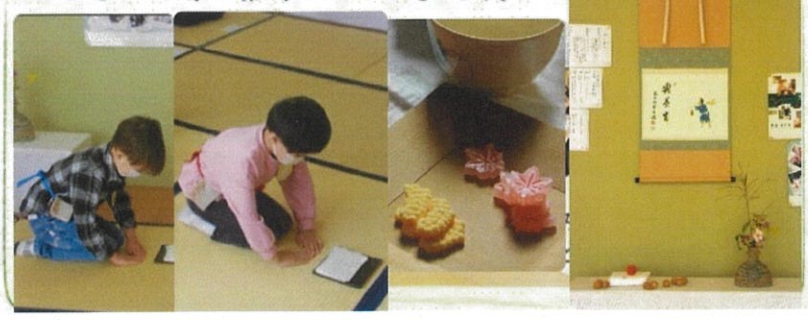






9回のお稽古でこんなに成長しました

日本の伝統文化である茶道に触れる機会はあまりないかと
思いますが、エルマーとりゅうぐみにとって、大切な大切な時間でした。
普段は元気いっぱいですが、凛々しく堂々とした子ども達の姿に
みなさん驚かれたと思います。
簡単ではないからこそ一生懸命に取り組みました。
お父さんやお母さんに美味しいお茶を飲んでもらいたいと
心を込めたお茶は格別だったかと思います。



先生のひとりごと

6月には正座をするだけでも大変だったのに、
こんなに立派にお点前ができるようになったんだね。
いつもは元気いっぱいのみんなが、今日はなんだか
とっても大人に見えたなぁ。
簡単ではないことにも一生懸命取り組んできた
9回のお稽古。お父さんやお母さんに心を込めて
点てたお茶は、きっと特別な味だったね。
お茶会が終わったあとの、あの誇らしそうな顔。
忘れられないなぁ。
日本の伝統文化に触れたこの時間が、みんなの心に
ずっと残ってくれたらうれしいな。